

まつしま

議会だより

第134号

平成30年5月1日発行
宮城県松島町議会



「日本一」という大きな栄光を手にするために！ (松島中学校野球部の皆さん)

- ◇ 予算はどう使われるのか……………P 2
- ◇ 7人の議員が熱弁(一般質問)……………P 4
- ◇ 新年度予算を問う……………P 12
- ◇ 議案審議……………P 26
- ◇ 平成29年度各種会計補正予算……………P 28
- ◇ 町民の声……………P 32

平成30年
第1回 定例会

[3月2日～3月20日]

平成
30年度

松島町の未来と 住民福祉の向上を

予算総額 **170億8147万円**

新年度予算原案通り可決

施政方針

- ・ 震災からの復興の加速化
- ・ 子育て環境と教育環境の充実
- ・ 企業誘致で地域産業の活性化
- ・ 観光事業での活性化
- ・ 定住する魅力あるまちづくり



施政方針を表明する櫻井公一町長

平成30年第1回定例会が、平成30年3月2日から3月20日までの会期で開催された。初日には、櫻井町長から新年度における施政方針が表明された。

新年度予算については、予算審査特別委員会を設置し、分科会方式で慎重に審査され、平成30年度松島町一般会計予算他すべての当初予算を原案のとおり可決した。

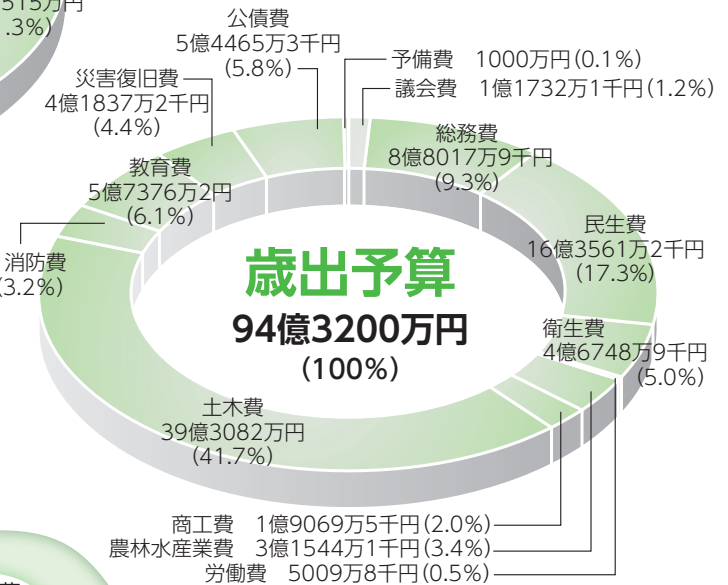
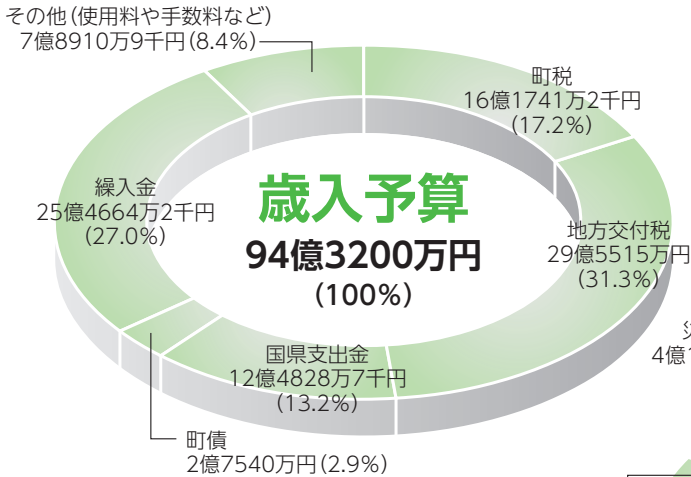
また、その他提案された内容は、議案22件（議

決事項に係る計画、条例の制定・一部改正、一部事務組合規約の変更、指定管理者の指定、工事委託に関する変更協定の締結、平成29年度各種会計補正予算、議員提案22件。

審議の結果、すべて原案のとおり可決した。

一般質問は、7人の議員が各々の視点から町政について質問した。

平成30年度 一般会計94億3200万円

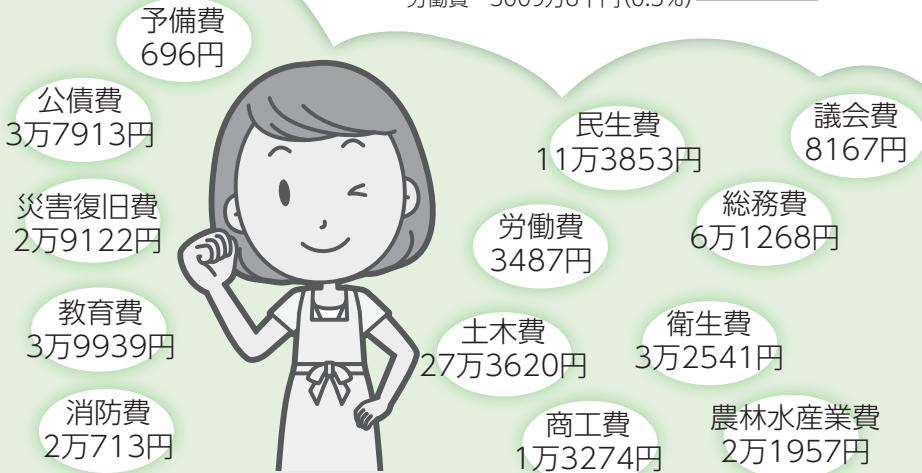


※構成比の数値は、四捨五入しているため、計の数値と合わない場合があります。

町民一人あたりの支出予算額

65万6550円

平成30年3月末人口1万4366人による試算



平成30年度の各種会計予算

会計名	平成30年度	平成29年度	前年度当初比	
一般会計	94億3200万円	95億3100万円	△1.0%	
特別会計	国民健康保険	18億1100万7千円	21億3397万3千円	△15.1%
	後期高齢者医療	2億700万2千円	2億1576万5千円	△4.1%
	介護保険	17億3045万6千円	16億3279万2千円	6.0%
	介護サービス事業	964万7千円	617万8千円	56.2%
	観瀾亭等	1億607万1千円	8535万1千円	24.3%
	松島区外区有財産	206万9千円	168万4千円	22.9%
	下水道事業	26億8397万4千円	18億678万8千円	48.5%
水道事業会計	10億9925万2千円	9億5618万6千円	15.0%	
合計	170億8147万8千円	163億6971万7千円	4.3%	

町政Q&A

一般質問 ここが聞きたい!

7人の議員が 10件について質問

杉原 崇 議員 (5ページ)	◆ 松島における英語教育は
緑山市朗 議員 (6ページ)	◆ 保育所の幼児童の待機発生の理由と解消の展望は
櫻井 靖 議員 (7ページ)	◆ 大人の居場所づくりをどう考えているか ◆ 松島のキャラクターグッズの販売はできないか
今野 章 議員 (8ページ)	◆ 国道45号線愛宕付近の歩道拡幅を急げ ◆ 紙おむつなど介護用品給付の考えは
高橋利典 議員 (9ページ)	◆ 合法的な民泊運営は ◆ 市街化調整区域の農地保全・整備は
澁谷秀夫 議員 (10ページ)	◆ 幹線道路ネットワークの整備計画はどう進んでいるか
色川晴夫 議員 (11ページ)	◆ 東京オリンピックに向け、「復興『ありがとう』ホストタウン」の登録を

※一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求めること



すぎはら 杉原 崇 議員

問 松島における英語教育は

答 A L Tの活用により、英語教育の向上が図られている

問 様々な場面でグローバル化が進んでいる中、外国語によるコミュニケーション能力の向上が重要だが、松島におけるA L T(外国語指導助手)による授業の状況は。

教育長 幼稚園や保育所では歌やリズムダンス、簡単なゲームなど遊びながら、英語を覚えている。小学校では担任教師の補助として一緒に授業を進め、発音やヒアリングなどの英会話を学んでいる。中学校では主に第1学年で効果的と考え、A L Tを多く活用し、文化の違いを学んだり、会話能力の向上を図っている。

以上回り幼稚園とあまり差がないようにしていきたい。

問 学習指導要領が改定され、小学校では英語が教科化されるが。

教育長 29年度からA L Tを2人体制にしており、対応は十分である。小学校教員の外国語の指導力向上のための研修に積極的に参加させる。教科化のため、数字的な評価も行う。

問 子供達がたくさんの英語に触れる機会は。

教育長 28年度から松島こども英語ガイド事業を展開。希望する子供達がA L Tから英会話だけではなく、松島の歴史も学び、外国人観光客に英語でガイドしている。もっと多くの子供たちにも経験させ、英語のレベルアップを図っていきたい。

問 2020年度に大学入試制度が変わり、英語は英検等の民間試験が活用される。保護者の教育費の負担軽減はもちろん、子供達の学習意欲の向上に繋がる英検の受験料の補助は。

教育長 高校入試や大学入試の可否判定の材料になっており、生徒への公平性が保てないため、現時点では考えていない。

問 学習指導要領の改訂ポイントに「外国語教育は小中高等学校一貫した学びを重視」とある。一貫した学びとして小中、中高一貫校、義務教育学校などもある。松島町における教育の将来は。

教育長 一貫校にするとプラスもマイナスもある。少子化により、一つに集約してそういう学校を考えていった方が良いのかの議論も必要。学力、いじめ、少子化などを全部踏まえ、町民に広く意見を聞きたい。



A L Tによる授業風景



みどり やま いち ろう
緑 山市 朗 議員

一般質問

問 保育所の幼児童の待機発生理由と解消の展望は

答 保育士不足が最大の要因 保育士確保により解消に努める

問 待機の発生の経緯と現状の詳細は。

町民福祉課長 過去3年間、年度当初は0名であったが、各年度途中で待機が発生している。平成30年3月1日時点では13名である。内訳は、高城5名、松島5名、磯崎3名、高城分園0名である。年齢構成は、0歳児9名、1歳児3名、2歳児1名である。平成30年4月時点でも4名は残ると予想している。高城で2名、松島で2名、全て2歳児である。

問 4保育所の合計入所定員269名に対して、現在入所者が186名、充足率が69・1%のことで、まだ80名程の入所枠があるにも拘らず待機が発生している理由は。

町民福祉課長 保育士不足が一番の要因である。保護者の就労率が高くなり、入所希望者も年々増えてきている。その一方で思うように臨時保育士の確保ができず、正職員

の保育士も継続的に採用はしているものの不足解消には届いていない状況である。



松島保育所

問 保育士が集まらないのは仕事のきつさに比べて賃金が安すぎるからではないのか。待遇改善を図るべきではないのか。

町民福祉課長 臨時職員の場合、平成29年度から保育士資格有りで1100円、また、平成27年度から交通費も支給している。但し、他職種の臨時職員や近隣自治体の賃金との兼ね合いもあり、高くする訳にはいかないが、今後も引き続き待遇向上を図っていく。

問 待機解消の展望は。

町民福祉課長 保育士の募集を引き続き行うとともに、保育士派遣の業務委託を行い、保育士確保に努めていく。

また、1月の議会全員

協議会で示した保育所の再編成による保育施設の見直しや、民間保育所参入の検討なども行い、解消に向けて継続的に取り組んでいく。

問 保育所の再編成は、松島・磯崎・高城分園を廃止、高城保育所は改修、そして1箇所新築（事業費約4億円）という計画案だが、拙速に行うべきではないのではないか。特に松島保育所の廃止は絶対に反対である。

町長 廃止該当の3保育所は老朽化が進んでおり、保育環境整備を第一義に再編成を考えている。多方面の意見を充分聞いて、幼保一体の認定こども園のことも考慮に入れながら進めていきたい。



さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 大人の居場所づくりをどう考えているか

答 囲碁や将棋、健康マージャンなど工夫をこらした地域サロンができている

問 地域サロンの活動が活発でない地域の対応や男性の参加できる場を今後どのように作っていくかが課題であると考ええるかどうか。

健康長寿課長 集まる場をつくっても、人が少なく開催が難しいという地域もあることから、広域的に集まれる場所として、29年度より高城避難所と保健福祉センターどんぐりで開設し、いろいろな行政区の方が交流する場が生まれている。また、役場主催の場には男性が少ないが、区長さん等の協力で、男性の参加を促す目的で囲碁や将棋、健康マージャンなどいろいろな工夫をしている。

問 地域サロンをつくる条件はどうか。

健康長寿課長 場所は、自宅でも、地域の集会所でも、どこでも構わない。地域サロンを立ち上げの支援を行っているので、どんぐりにお声がけ下さい。職員や社協のコーディネーターが現場に出向き相談に乗ります。



どんぐり松ちゃん

問

松島のキャラクターグッズの販売はできないか

答

可能と考えている
前向きに検討したい

問 「どんぐり松ちゃん」等のキャラクターデザインの著作権はどのように管理しているのか。また、商標権、意匠権の登録をしているのか。

企画調整課長 使用目的や内容について確認のされる申請書を提出しても、公序良俗に反しない限り使用について特に制限を設けていない。商品での活用については、内部で検討をさせてもらうが、愛されるキャラクターグッズとして販売促進につながるのであれば活用してほしい。

問 「どんぐり松ちゃん」等のデザインを町民が使用したい時はどうすればいいか。それは商業目的でもかまわないのか。

産業観光課長 販売は可能とは考えている。前向きに検討していきたい。

企画調整課長 キャラクターデザインに関する管理は町で行っているが、費用が伴うということ、使用頻度を勘案した結果、商標権、意匠権の登録については行っていない。

問 町として、キャラクターデザインのグッズ販売は考えられないか。



あきらの 今野 章 議員

問 国道45号線愛宕付近の歩道拡幅を急げ

答 再度、仙台土木・国交省と協議したい

建設課長 交差点付近は相続問題で難航し、工事が出来ない。国交省は重要視して対応しており買収できれば工事ができると思う。

トンパックは落石の恐れがあり国交省で歩道内に設置した。撤去は出来ず、この箇所は急傾斜地崩壊対策箇所だが、県では民家もなく対策工事はしない。

今後は国、県と協議し環境改善を図りたい。

問 国道45号愛宕交差点付近は、震災以降トンパックが積み上げられ歩道が狭い。トンパックは破け、その草木を切ろうとした人が事故にあった。急傾斜地対策とトンパックの除去の関連も含め、車歩道の拡幅改良工事はどうなるか。

問 国交省は「落石の恐れからトンパックを置く」県は「県の対象事業に該当しない」では矛盾がある。危険な場所での崩壊対策を講じることが大事だ。

根廻付近では、崩壊防止工事が進んでおり、同様の工事は出来ないか。

建設課長 山の状態が震災を前後して変化しており、擁壁工事など、再度、仙台土木事務所、国交省に確認し、代替措置の検討など車歩道の幅員を確保できるように協議していきたい。



愛宕交差点付近破れたトンパックと狭い歩道

問 紙おむつなど介護用品給付の考えは

答 家族介護への支援は熟慮すべきだが

問 「松島は紙おむつの支給が少ないよね」と訴えられ、調べると近隣市町は毎月紙おむつを支給している。松島は社会福祉協議会が年2回支給で、町の取り組みはない。他市町と肩を並べた介護用品給付の考えは。

町長 各市町村で実施する施策に違いがある。町は、緊急通報システム、宅配サービス、タクシー助成など高齢者福祉事業を実施している。

健康長寿課長 本町では社協で常時紙おむつが必要な在宅の寝たきりの方、障害児者を対象に引換券1500円分を年2回配付。二市三町では、現物や助成券など月2000円前後である。

問 その額は大人用のおむつ約30枚。在宅の家族介護で頑張っている方々への制度としても良いのでは。



健康長寿課長 町は他市町と比較し高齢者福祉事業の対象を拡大しているが、在宅で一生懸命介護しているご家族への支援は熟慮すべきで、介護保険次期計画の中で総合的に検討したい。

問 次期計画では3年後になる。早い段階で検討すべきだ。

町長 前回、議員から移送事業の提案もあった。今後、どれだけのことを最低限やれるか検討し、早めに反映させたい。

一般質問



たか 高橋 とし のり 典 議員

問 合法的な民泊運営は

答 民泊新法施行により可能である

町長・産業観光課長 全国的な健全な民泊サービスの普及を図ることを目的としており、住居専用地域を含め事業することは可能である。宮城県では、当面制限をしないで運用していく方針を示しており松島町も合わせて運用していく。

問 民泊新法が2018年6月15日に施行される。松島での空き家を利用した民泊営業は可能か。



民泊という新しい宿泊体験

問 民泊の年間提供日数の制限は。

産業観光課長 営業日数は最大で180日に制限される。宿泊を1日おきに予約をとれば最大で360日の営業ができる。

問 国家戦略特区民泊の要件と申請は。

産業観光課長 宿泊施設の滞在期間が2泊3日、9泊10日までとされた一方で、近隣住民との調整や滞在者名簿の備え付け等の新規要件が追加された。メリットとしては年間営業日数制限がないため、年間を通じて営業することができる。

特区は、内閣総理大臣および都道府県知事から「国家戦略特区」について認定を受ける。指定された自治体は自ら条例を定めることで「特区民泊」ができる。

問 市街化調整区域の農地保全・整備は

答 町が誘導していくことは難しい

問 農用地域以外の農地は、多くが基盤未整備の状況により生産効率が低く、耕作放棄地等荒廃化が進んでいる。多面的な保全施策展開が必要であり、集落地域整備事業について伺う。

町長・副町長 町等が受益者からの申し出を受け集落の代表者あるいは農業委員会、土地改良区、農協等の意見のもと整備計画が国、宮城県、土地改良等々の関係機関から認められて、20ヘクター以上の受益面積であれば事業が可能であるが、

農用地以外の要件は連続した区域の定め方で、町の状況は飛び地が大部分で要件を満たしていない現状である。国策も加味した手法を模索して行きたい。

問 町独自の政策を打ち出し、計画的に基盤整備等を行っていないと農地保全はできないのでは。

町長 耕地整理となると自治体の負荷がどの程度かかるかが一番である。耕作者の話をまず聞いて、方向を見出ししていきたい。町が誘導することはなかなか難しい。そこに人が住み着くような他の施策を見出していくことも痛感している。土地の条件に合った作物のこともあり、国・県との連携しながら模索していきたい。



耕作放棄が進む前田沢地区

問

幹線道路ネットワークの整備計画は どう進んでいるか

答

愛宕交差点の歩道拡幅、初原バイパスの
延伸計画は国と県へ継続して要望
高城本町線の見直しは、現時点では考えていない



しげ や ひで お
澁 谷 秀 夫 議員

町長 現在、用地確保が難航しており、今後も国と協力し地権者と協議を行い、歩道の拡幅に向けて努めて行きたい。

問 松島町の道路は、国道45号を中心に国道346号、主要地方道仙台松島線、奥松島・松島公園線、県道赤沼・松島線などの路線によってネットワークが形成されている。課題としては、避難道路関連事業の早期完了と国道45号の渋滞を緩和させるための初原バイパスの位置付けなどが採上げられている。幾つかある道路主要施策の中から、3ヶ所について伺う。

一つ目に、国道45号愛宕交差点区域の歩道拡幅及び交差点線形改良に対する取組みについて、国への要望経過も含め伺う。

建設課長 初原バイパスの延伸は、宮城県アクシヨンプランに組み込まれていない。町としては、宮城町村会、仙台都市圏広域行政連絡協議会などを通じて機会ある毎に要望し続けて行く。信号機の設置は、宮城県警察本部に町内での第一優先箇所として要望を行っている。

建設課長 交差点の線形改良は、用地買収が完了し、歩道拡幅が実現される場合、国交省で再設計する見通しである。

問 未完成となっている初原バイパスの延伸計画は、どのように進んでいるか。また、初原バイパスと町道高城桜渡戸線との交差点に信号機の設置を塩釜警察署を通じて宮城県警察本部に要望されているが、結果はどうなっているのか伺う。

問 高城本町線道路整備が中心市街地活性化基本計画事業として施工された16年が経過。事業に対する町の評価と駐車スペースの設置やポールの統一化などを見据えた上での道路整備見直しの有無について伺う。

建設課長 歩道のバリアフリー化、歩道空間の環境改善、歩行者の安全確保が達成されたと考えられる。平成29年度に施工した町道高城本町線の避難道路整備工事の中で行った歩行者空間と車道を色分けするための路面標示をもって、完成形としている。



初原バイパスの石田沢付近交差点



町道高城本町線の歩行者ガード用ポール



色川晴夫 議員

問 東京オリンピックに向け「復興『ありがとう』ホストタウン」の登録を

答 五輪聖火リレーコースに全力を挙げる

問 日本中に勇気と感動を与えた平昌冬季オリンピックが3月18日に閉幕した。選手の活躍で国民は一喜一憂、スポーツの力を私たちは改めて感じた。

今回の質問は、平成28年3月議会に続き2回目である。前回はオリンピック事前合宿を広域で誘致してはどうかの質問であった。町長答弁は「受け入れ環境整備に伴う費用負担と人材確保などで難しい。現在検討しているのは、未来への道1000キロ縦断リレー、青森から東京までのリレーで、聖火リレーを申し入れている」とのこと。事前合宿はハードルが高く、自治体も苦戦している。国は、被災3県にこれまで支援してくれた海外の国に復興した姿を見せ知らせるため、住民との

交流を行う「復興『ありがとう』ホストタウン」を新設し、全面的にバックアップしていくとしている。

そこで被災地の状況をこの機会を通じ、全世界に感謝し「ホストタウン」の登録を検討すべきと思うがどうか。

町長 事前合宿については費用面などで難しい。「復興『ありがとう』ホストタウン」については、二市三町担当で会議は持っているが、現在まだホストタウン登録の予定には至っていない。

問 「ありがとうホストタウン」については、地域の活性化、人的、経済的、文化的な相互交流を目的に新聞で特集も組まれている。被災3県で12市町村が申請、東松島市も登録したが。

産業観光課長 東松島市は、デンマークより支援をもらい感謝の意味で手を挙げた。オリンピック後の交流を目的と聞いている。

問 ホストタウンは、共生社会を目指しバリアフリー化の推進や、事後交流型ホストタウンで、選手の訪問など国際交流を目指すとしているが。



2020東京オリンピック・パラリンピック

問 ホストタウンについて、町民から問い合わせはないのか。また、指定管理者となつているスポーツ団体はどう思っているのか。

町長 町には町民の方々や各種団体からは話はない。今後、この質問を契機に出でくるかもしれないので、町の考えを整理していく。

町長 今、海岸地区でバリアフリー化を進め松島に訪れてくる方々の整備を進めている。今後聖火リレーのコースになるよう全力を挙げていく。

総括質疑

新年度予算を問う



平成30年第1回定例会 阿部幸夫議長

総括質疑

総括質疑とは？
議会に提出された議案等に対する質疑で、詳細な審査は委員会において行われるため、大綱（根本的なもの）について質疑を行うものです。



杉原 崇 議員

問 町の財政状況について、今後の見通しを含めた考え方は。

町長 高齢化社会に伴う社会保障費が増加しており、また、震災以降に整備した各避難施設等の維持管理費が年々増加するという見込みになっている。松島駅のバリアフリー化、保育所の新設等の考えもあり、今後も厳しくなってくる。歳入も大幅な増額が見込めないため、より一層財政の健全化を図りながらやっていきたい。

問 復興事業の進捗状況は。

町長 町事業の震災復興の全体事業費の配分率は94%で、契約率としては72・5%となっている。
副町長 避難施設等は完成している。下水道事業は進んでいるが、避難道路に関しては用地交渉が進まない場所もあるが、復興事業終了の32年度まで終わらせるよう努力する。

保育所の再編は

問 高城保育所改築、1カ所新設の方向であるが、今後のスケジュールは。
町長 高城保育所の改築については、

30年度に保護者の皆様等からいろいろなご意見を聞き、町の考え方を示した上で、設計を組みたい。新設に関しても、保護者の皆様からのご意見を聞き、場所の選定を進めていきながら、民間の方が参入したいという場合の受け皿づくりも進めていく。

問 保育所と幼稚園における幼児教育の考え方は。

教育長 保育所は厚労省管轄、幼稚園は文科省管轄のため、若干システムが違うが、基本的には幼稚園も保育所の子どもこれから松島を担う子供たちだというスタンスに立ち、同等の教育を行っていきたい。その中で、認定こども園という形も考えている。



磯崎保育所

町財政の見通しは

問 国民健康保険・介護保険特別会計の今後の見通しは。

町長 労働人口の減少と高齢化により社会保障費は増えていく一方であり、その財源を考えていかなければならない。

問 第20次復興交付金の配分がなかったが、要求しなかったのか。

副町長 5項目について復興庁と協議したが、今回配分がなかった。

町営バスのデマンド化

問 町民バスデマンド化の実証実験が始まるが。

町長 3か月実験を行うが、料金の問題等いろいろな議論が必要となる。

松島海岸駅の改修

問 松島海岸駅のバリアフリー化は。

町長 今年度は基本設計の予算を計上した。
企画調整課長 今後、詳細設計に進む



高橋 幸彦
議員

でいく。海側にプラットフォームを新設し、エレベーターを2基設置する計画であり、約18億円を見込んでいます。

防災行政無線の戸別受信機の配備は

問 戸別受信機を難聴地区にも配備する予定だが。

総務課長 今年度は157台配備する予定で、32年度まで5000台配備する計画である。

放課後子ども教室の内容は

問 放課後子供教室とはどのような事業なのか。

教育課長 町内の小学生を対象に月1回程度、地域のボランティアの協力で、子供たちが安心して安全である放課後の居場所づくりをする事業である。

松島博物館の改修は

問 松島博物館の改修計画はどのような内容か。

産業観光課長 屋根の防水工事、床の張り替え工事、空調整備等である。

他に庁舎建設の方針、防犯灯の見直し、松島町自殺対策計画、保育所再編、文化財看板、地域連携DMOについて質問。

財政運営喫緊の課題

問 厳しい財政運営、予算編成と目標管理、町民への公表の考えは。

町長 一般会計ベースで、95億円程度の予算だが、2、3年後には震災以前の57億円に戻っていくだろう。今後、維持管理費等がかさむ予測から財政見通しを立て、3年サイクルで予算編成をしていく。

副町長 基本的な事業推進の目標は、最低3年サイクルでどう取り組むか、財源をどう確保していくかということころを、現段階で対応しながら進んでいく。

財務課長 地方公会計の導入では、今年の9月末までに固定資産台帳の整理を行い、31年度において財務諸表を作成し、31年12月までには公表できるようにしたい。

問 観光復興の節目の年というが、観光事業は、多くの産業への波及効果が大きく、農林水産、商工業などの連携強化が求められている。については観光と併せ、特に農林水産、商工業への取組みに対する町長の姿勢は。



赤間 幸夫
議員

町長 観光、農林水産、商工業でも何が一番大切かと言われれば、人づくりである。農業に関わっている方、商業に関わっている方、いずれの業種の方々も交流がない。この一年、交流を持つことに重点を置いた取り組みを行ってきている。今も研究し勉強会をしているが、人づくりをきちんとやり、その取組みの中で出された意見を観光や農林水産、商工業へ反映していければと考えている。

町民の声を聞く機会を

問 子育てに懸命なお母さん方の町へのニーズや高齢者からの生きがい対策としてのニーズなど、その生の声を聞く考えは。

町長 予算の執行に向けて町民の方々と膝を交え、お話し合いを持ちたい。平成30年度と31年度で大幅に切りかえたい内容など、きちんと説明していかないとだめだと考えている。例えば保育所等の話、学区割りの問題など、意見をいただく機会になる。時期的なものは4月になってから考えたい。



菅野良雄
議員

町の将来は如何に

問 松島海岸駅の改修や保育所新設などの計画があり、事業推進で新たな起債が必要となる。将来町民が負担する償還額が増えることになるが。

町長 費用は増、税収は横ばいの試算であり、財政が厳しくなる。

問 長期的な財政計画がない中で、どんな立派な長期計画を策定していても計画の実行はできないと思うが。

副町長 財政計画は中期的なものしかつくっていない。

問 公共施設等の管理については、長期的な視点を持って、財政負担の縮減や平準化を推進しなければならぬ。公共施設等総合管理計画の策定は進んでいるのか。

財務課長 現在、庁内の関係課職員で検討を重ねており、29年度末までに取りまとめる予定である。

問 新設された避難所を含め、多くの公共施設で多額の維持管理費を負担している。一方、使用料は少額であり財

政に与える影響が大きい。見直しも無くこのまま行けば将来の財政負担は大変なことになる。予算編成にあたって使用料の見直しをしたのか。

副町長 予算編成の中で話しは出ている。見直しの検討はしていく。

問 女川原発は再稼働の予定で廃止はまだ先のことと思われる。万が一の場合、町民の退避や観光客への対応、児童生徒の引き渡しなど基準を定めることが必要であるが、どう進めていくのか。

町長 町民の安全が第一ではあるが、観光客のことなども考え総体的に進めていく。

問 企業誘致は町長の基本政策のひとつである。施政方針では具体性が乏しく、これから誘致をスタートさせるような印象を受けるが、もっと積極的に誘致をしないと成果が出ないのではないか。

町長 今、工業系の土地利用について県と協議が進んでいる。いい方向にいくよう進めていく。企業が来れば人が来るという考えをぶれないで進めていく。



片山正弘
議員

人口減少は

問 少子高齢化に伴う人口動態の推移をどう見ているのか。

副町長 人口動態は、以前に2万人、2万5千人構想の論議がなされた経緯はある。当時の人口は1万7千人前後で推移していた。今は、2千500人ほど減った。本町の状況等を見ると国の試算よりも緩やかに減少すると思う。

滞在人口を増やす施策は

問 滞在人口を増やす施策で、岩手県平泉町「中尊寺」では、町を挙げて誘致活動をしている。本町の取組は。

町長 今年5月19日から瑞巖寺落慶記念行事にむけて、慶讃会と共に、誘致活動を昨年から県内外に行動を起こしている。

町の観光大使は

問 松島町で事業を営んでいる方の子どもさんで、有名な俳優、千葉雄大さんを松島町観光大使にお願いをしては。

産業観光課長 水森かおりさん・サンドウィッチマンさん・前職員のロジャー・スミスさん・3名の観光大使がいます。それぞれの関係性は、直接町から予算が伴わない形で、大使として発信していただいている。

町長 サンドウィッチマンさんと、昨年テレビの収録が松島であり、その時、今後の事についてお願いし、PR用名刺を渡した。

千葉雄大さんの件は、プロダクションと話し合いをしている。町の観光大使と言うことでなく、瑞巖寺落慶記念行事等で来ていただけないか、今、打診をしていると慶讃会の方から聞いている。



今野 章
議員

被災者支援の継続は

問 公共施設等総合管理計画に基づく計画策定はどこまで進んでいるか。

町長 施設等を14分類くらいに分類し、基本方針、総合的な計画を29年度中にまとめたい。

問 国の公共施設等適正管理推進事業は新年度から対象事業の拡大が図られる。起債充当率90%であり、財源として活用し住民要望に応えるべきである。庁舎の移転や建設にも対象が拡大されており、本町の庁舎が該当するののか検討しているか。

副町長 庁舎問題は財源や災害対策など総体的に考える必要があり、対象事業として財源が確保できるのか検討したい。

問 仙石線松島海岸駅のバリアフリー化事業の事業費と負担割合は。

企画調整課長 JR東日本の試算では、基本設計、実施設計、改修工事の総額で約18億円。新制度の次世代ステーション創造事業で都市施設も含まれ、6分の1の負担である。

問 震災被災者の生活の復興を支える医療費や介護費用の負担軽減を継続する考えはないか。

町民福祉課長

一部負担金の免除は、既に協会健保、組合保険、後期高齢者医療などでは終了しており、各制度間の均衡なども考慮し免除継続は考えていない。

問 不登校は29年度、小学校で9名、中学校で13名と急増しているが、不登校急増の要因と新年度に向けての対処方針は。

教育長 急増の要因は様々で確実なものとはつかめない。各校と密に連絡を取り、スクールカウンセラー、スクールカウンセラーとの連携、旧第三小にある心のケアハウスの活用など、アンテナを高くし不登校の芽を早くキヤッチ出来るよう最後まで諦めずに対応したい。

保育所減らすべきでない

問 保育所は、これまでも本郷や海岸で廃止の動きがあったが、反対の運動があり存続してきた。保育所が地域にあることが重要という証拠で、統廃合すべきではない。

町長 築年数の経過など当時とは事情が違う。改修と新築の各1カ所など町のプランをしっかり示し、ご理解いただけるよう説明したい。

予算審査特別委員会

現地調査

予算審査特別委員会は、3月7日(水)に、観瀾亭博物館改修事業他5ヶ所の現地調査を行いました。

観瀾亭博物館改修事業



その他

松島橋橋梁災害復旧工事（県事業）
長田雨水ポンプ場建設工事
磯崎第二雨水ポンプ場建設工事

二子屋浄水場施設建設工事



松島大橋災害復旧事業



第1分科会 第1分科会が審査する課

議会事務局／会計課／総務課／選挙管理委員会／企画調整課／財務課(松島区外
区有財産特別会計含)／産業観光課(観瀾亭等特別会計含)

企 画 調 整

主なつかいみち

広報広聴費	1233万円	(575万円)
企画費	5011万円	(△185万円)
電子計算費	6451万円	(1302万円)
復興推進費	1418万円	(0円)

問 庁舎内のパソコンのセキュリティ対策はどうなっているのか。
企画調整課長 データは、クラウド

問 定住促進のため、宅地開発業者へのアプローチはしているのか。
企画調整課長 ある程度まとまった土地の開発について、相談を受けることもあるし、様々なネットワークを使って周知はしている。
しかし、開発するに当たっての業者側の収支や、町で行わなければならない取り付け道路の整備等の問題もあって、なかなか話がまとまらない状況である。

問 町の情報発信力が弱いと感じる。行事やイベント等について、来訪や誘客を促すため多方面に周知をしているのか。
企画調整課長 記者クラブ加盟の22

問 町の情報発信力が弱いと感じる。行事やイベント等について、来訪や誘客を促すため多方面に周知をしているのか。
化し、遠隔地のデータセンターに保存している。特別な回線で通信しているため、外部からの侵入ができない。また、パソコン操作についても静脈認証などでセキュリティを強化している。



パソコンのセキュリティ対策は



平成30年町民新年会

総務・環境防災

主なつかいみち

一般管理費	2億6760万円	(176万円)
塵芥処理費	1億7414万円	(△187万円)
し尿処理費	5567万円	(741万円)
非常備消防費	6080万円	(1128万円)

※()内は前年度対比

問 町民新年会を廃止することだが、永年続いてきた貴重な町民交流の機会となっており、善行者功勞者表彰に最もふさわしい場でもある。決定は唐突過ぎる。広く町民の意見も聞き再考すべきである。
総務課長 現在の町民新年会は名刺交換会に過ぎず、出席者も固定的な一部町民でしかない。会費の3000円と町の持ち出しで賄い切れず、会場のホテルに大サービスをしてもらっており迷惑をかけている。町主催ではなく他団体主催が妥当と判断した。

町民新年会は廃止なのか

問 手樽の町営三浦墓地の法面工事費は4000万円弱、前・前々年度分と合わせて6470万円と極めて高額である。既に全17区画埋まっており、そしてほとんどが地元民である。一般町民が利用できない状況にあり税の不公平使用ではないか。
総務課長 自然風化による落石により崩壊の恐れが生じたための工事であるが、最も低廉な工法を選択した。墓地管理組合を指定管理者としており、利用時に1区画28万円、年間1500円の管理料をもらっている。

予算審議

平成30年度予算 どう使われるのか

各課に問う

産業観光

主なつかいみち

農業振興費	1767万円	(△143万円)
林業振興費	4153万円	(△145万円)
水産業振興費	367万円	(26万円)
商工業振興費	6228万円	(△76万円)
観光費	6820万円	(△7968万円)

問 農業振興地域外の農地の維持管理をどうするか。(特に初原・桜渡戸地区)

問 各団体への補助金が減となっているが、査定時の相手方の反応は。
産業観光課長 温泉組合には、震災上乗せ分を平時の交付額に戻すためと時間をかけて説明しており、相手方の承知を得て減とした。観光協会については、要求は対前年より増であったが、松島海岸駅のバリアフリー化に向けて財源を確保したい旨説明し、前年同様となっている。

予算審議

減反政策に代わる施策を

産業観光課長 以前から農政局や県に要望は行っている。農業振興地域に指定、編入には10ヘクタール以上の団地という制限があるが、国の施設(自衛隊反町分屯地)に分断されているため、特例的に認めてもらえるよう今後も要望を続けていく。

問 減反政策がなくなる中、農家に対する新たな支援は考えられなかったのか。
産業観光課長 課内で一次産業に対して一般財源での支援を模索したが、事業費が膨大になることから企画倒れになった。



手樽地区農村基盤整備事業



役場庁舎

財務・財政

主なつかいみち

財政管理費	87万円	(△3万円)
財産管理費	1億541万円	(△708万円)
賦課徴収費	4113万円	(△456万円)

問 予算編成の順序、決め方は、また、政策的な予算はどのように入れているのか。
財務課長 10月頃に予算編成方針を作成し、政策的予算については企画の長期総合計画実施計画等を見ながらその年度の主要な事業を把握し、査定する様になっている。

問 庁舎建設基金の5600万円の根拠は。
財務課長 庁舎敷地の賃借が10年であったため、10年間で5億円を、ということとその金額となっている。

庁舎建設基金の根拠は

問 松島フットボールセンターは築何年か。大きな修繕が出てくる頃ではないのか。
財務課長 20〜25年は少なくとも経過している。体育館の屋根や床は3年ほど前に直している。また、去年の旅館登録の際に細かい所は、サッカー協会が直している。

第2分科会 第2分科会が審査する課

町民福祉課(国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計含)／健康長寿課(介護保険特別会計・介護サービス事業特別会計含)／建設課／教育委員会／水道事業所(下水道事業特別会計含)

健康・長寿・介護

主なつかいみち

老人福祉費	3億1504万円	(1774万円)
保健福祉センター管理費	4602万円	(△257万円)
健康館費	636万円	(333万円)
敬老会関係費	226万円	(△121万円)

問 健康館の今後のあり方についてどう考えるのか。
健康長寿課長 あと2年の指定管理期間内に改修を実施する。

問 敬老会の記念品を受け取っても要らない・使わないという声をきく。記念品の質をおとすよりも廃止した方がいいのでは。
健康長寿課長 まだ楽しみにしている人もいるので継続していく。

介護保険制度の見通しは

問 町の介護保険制度の今後の見通しは。
健康長寿課長 毎年1億円ずつ給付費が増える見込みである。給付費が増えればその分、町負担の12・5%も一般会計で増えていく。



高城保育所

町民サービス・福祉

主なつかいみち

障害者福祉費	3億308万円	(△1054万円)
保育所費	2億364万円	(△1086万円)
子ども医療費対策費	4755万円	(368万円)
児童館費	2573万円	(319万円)
子育て支援事業費	996万円	(△341万円)

保育士不足の対応

問 マイナンバーカード普及に向けての取り組みは。
町民福祉課長 主に身分証明書として利用していただいている。今後はコンビニ交付も検討していきたい。

問 保育士不足に対しての対応は。
町民福祉課長 派遣保育士やみなし保育士にするなどで対応している。

問 障害者の避難施設について検討すべきではないか。
町民福祉課長 まずは避難時における地域の方々による対応等が必要であると考える。



特別養護老人ホーム長松苑

下水道・水道事業

主なつかいみち

下水道事業費 26億8397万円 (8億7719万円)

水道事業費 6億713万円 (1698万円)



松島中学校入学式

教育・文化

主なつかいみち

幼稚園費	8136万円	(△229万円)
小学校費	5652万円	(△586万円)
中学校費	2568万円	(△639万円)
公民館費	1797万円	(△827万円)

入学準備金と奨学金の利用

問 入学準備金の前倒し支給を
考えるべきではないか。

教育次長 前年度の課税状況に
応じての支給になることからで
きない。

問 奨学金の利用件数が少ない
が、給付型の考えはないのか。

教育次長 給付型の考えはな
い。利用件数については周知方
法を検討する。

問 文化観光交流館大ホールの
空調は改善したのか。

生涯学習班長 ジェットヒー
ターを導入し、補助暖房として
供用している。

下水道の未整備と雨水ポンプ場の進捗

問 霞ヶ浦地区は下水道が未整
備である。JR関係で費用面が
難しい事であれば、合併処理浄
化槽は考えられないのか。

水道事業所長 霞ヶ浦地区はJ
R横断が絡み多額の費用がかか
る。今後、面的整備が難しい場
所については、合併処理浄化槽
整備の検討も必要であると考え
る。

問 西柳雨水ポンプ場の進捗は。
副参事 用地2ヶ所を買収す
る。1ヶ所は買収を終えたが、
もう1ヶ所は土地の相続があり
少し時間がかかる。

問 みやぎ型管理方式とは。
副所長 上水道、工業用水、下
水道をひとつにまとめ運営する
方式である。



霞ヶ浦地区

特別委員会からの意見・要望



予算審査特別委員会 高橋幸彦委員長

新たな町の情報発信について

「日本三景」という観光資源に恵まれ、様々なメディア等で取り上げられることが多いが、イベント中心の報道が主であるため、一過性の情報になってしまいがちである。松島の隠れた歴史・文化遺産や地域の特徴ある行事など、メディアを含め報道機関を活用し、多角的な情報発信に積極的に取り組むべきである。

中・長期的な財政見通しについて

長期総合計画は平成37年度となっており、計画を推進するにおいて財源等の裏付けが必要である。

今後、保育所新設、松島海岸駅整備など、多額の財源を要する事業が計画されており、長期総合計画の目標を達成するた

めにも、早急な財政計画の策定が必要である。

町の農業政策について

平成30年度から米の生産調整が見直され、農家に与える経済的影響が心配される。一方で、耕作放棄地が拡大するなど、新たな地域課題を引き起こしている状況にある。

このような喫緊の課題に直面し、町独自の農業政策を講じる必要性に迫られていることから、農業関係団体等と連携し、計画的に農業基盤強化に努めるべきである。

観光行政の推進について

東日本大震災後、観光客の入り込み数・宿泊者数が伸び悩んでいる。

観光協会や関係諸団体ともっと関わりを深くし、インバウンド対策を含め、官民一体で観光客

の増加に努められるよう望む。

合併処理浄化槽設置整備事業補助金の周知について

文化財保護地域や河川法等により污水管渠の整備ができず、下水道に接続できない住民に対し、公共下水道区域内であっても合併処理浄化槽設置整備事業補助金が交付されることの周知を望む。

保育士等の人材確保について

現状では4名の待機児童が予想されている。待機児童の解消につなげるためにも、保育士の人材確保が喫緊の課題である。

また、調理員の正職員の確保も含め、早急に解消する事を望む。

保育所のあり方の意見聴取と周知について

今後の保育所のあり方について、保育所利用者等に、本町の方針を速や

かに周知するとともに、十分な意見を聞き、方針が決定した時には、充実した保育環境の整備に努められたい。

健康館の今後について

健康館は建設されてから120年の歴史があり、初原のランドマークである。

しかし、老朽化が激しく、多額の補修費用がかかるかと推測される。

平成32年3月には指定管理の期限が切れるので、その利活用について検討を行うことを望む。



健康館

予算審査特別委員会を開き、第1分科会(総務経済常任委員会)、

第2分科会(教育民生常任委員会)に分かれて、平成30年度一般会計予算と特別会計予算、水道事業会計予算について、6日間の審査を行った。

その結果、以下の意見・要望等を集約して、町長に提出した。

町民新年会の開催と善行者及び功労者表彰について

「町民新年会」は各行政区や関係団体、一般町民など町内各界各層多数の町民が参加しており、相互の交流のための貴重な行事となっており、また、その中で行われる善行者及び功労者の表彰は大変意義深いものと考えられるので、廃止することなく、継続実施の再考を求める。

糖尿病の予防について

わが町の健康診断の受診率は52・3%であるが、そのうち糖尿病予備軍が80・4%と全国平均に比べ約30%高い状況にある。

健康増進の観点からも、その原因を探り、健康維持に向けた改善策を早急に行うことを望む。

トイレの洋式化について

学校の和式のトイレが使用できず、我慢する子供がいると聞く。

生活環境の変化に対応して、小中学校の洋式トイレを増やすべきである。

就学援助費の新入学用品費について

就学援助費は入学してからの後払いではなく、事前に準備ができるよう前倒しして支給すべきである。

手樽地域交流センター



心のケアハウス

適正な職員数の配置について

公民館及び勤労青少年ホームは、直接住民と接する場であることから、町民の要望に応えられるよう適正な人員配置をすべきである。

給食への地元食材の利用について

給食に地元産の農水産物（カキなど）利用を積極的に取り入れるよう努力するとともに、地元産業の理解を深めるよう生産者と子ども達の交流を行うべきである。

心のケアハウス事業の周知について

不登校の生徒が急激に増えている現状を踏まえ、スクールソーシャルワーカー等の活用を図り、心のケアハウスの利用を促すよう努力された。

各課共通

復興交付金事業について

復興事業期間はあと2年となっている。

用地取得が速やかに行われるよう、地権者やそれに関わる弁護士等と十分連携を持ちながら、工期内に完了できるように努力されたい。

遊具の点検補修について

保育所、幼稚園、小学校及び児童公園の遊具についてサビが目立つ箇所がある。

幸い大きな事故は起きていないが、これからも事故がないよう、充分に点検補修を行うよう求める。

付帯決議

町営三浦墓地法面整備事業及び主要事業の執行について

平成30年度一般会計予算において、町営三浦墓地法面整備事業に3971万2000円の予算が計上された。

平成28年度からの当確事業費の総額は、当初予算ベースで6472万9000円で、平成29年度及び30年度の両年度において、その財源として、合わせて4330万円の地方債（充当率75%）が計上されている。

3ヶ年にわたる当該事業は、長期総合計画の主要な事業ではあるが、事業規模・内容からも、また、将来の住民生活あるいは町財政運営にも影響を及ぼしかねる事業のため、丁寧な説明が必要であった。

主要な事業に位置付けられるものについては、十分かつ丁寧な説明を強く求めるものであり、予算執行を一時停止し、町営墓地のあり方を含め工事手法等を再考すべきである。



町営三浦墓地

こんな理由で賛成です

一般会計予算

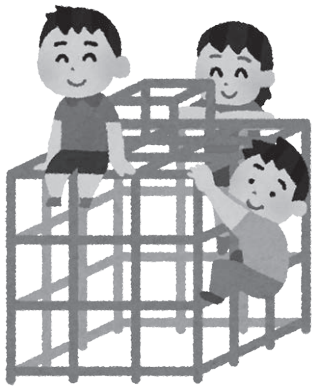
反対

今野 章 議員

賛成

緑山市朗 議員

新年度事業として評価すべき事業も多々あるが、震災被災者に対する医療や介護の利用者負担免除は継続支援すべきであった。マイナンバーカードは利用価値が少なく、情報漏えいやプライバシー侵害が現実のものとなる。マイナンバーの運用中止、廃止を求めたい。生活保護基準の引き下げは、受給者の生活の質低下とともに保育料など他の福祉制度等に連動するため利用者に影響が出ない対応を望む。保育士不足で待機児童が生まれる。安全安心の保育実現へ保育士の処遇改善の努力を求め。また、保育所の統廃合、利益追求が最大の目的である株式会社算入に道を開くことには反対である。また、町営三浦墓地の法面整備事業、町経済の活性化問題、就学援助制度や奨学金制度の見直し、後継者不足が深刻な一次産業、とりわけ農業における意見等を述べ反対の討論とする。



平成30年度一般会計予算は、貴重な町民の血税を以て編成されたものである。予算審査特別委員会で「附帯決議」がなされたということをも鑑みて、無駄なく、町民のために有効に執行されることを望み、賛成討論とする。

討論

国民健康保険特別会計予算

反対

今野 章 議員

賛成

澁谷秀夫 議員

国民健康保険は、加入者の半数以上が年金生活者で、高い国保税の負担が求められるなど、多くの自治体で滞納や収納率の低下がある。国保は極めて脆弱な基盤の上に成り立っており、公費負担により支えなければ成り立たない制度でもある。そのため国は、国保の抱える諸問題に対応するとして、平成30年4月から都道府県も市町村とともに保険者となる国保の広域化をスタートさせる。しかし、広域化では、国保財政の運営主体を市町村から都道府県に移すことが柱で、国保が抱える諸問題、困難の抜本的解決までには至りません。国は、医療費抑制で自治体間競争を狙っていますが、町は国民健康保険財政への国庫負担割合を少なくとも本来の45%に戻すよう積極的に国に要望することを求める。

国民の約3割が加入している国民健康保険制度は、地域医療の確保と健康増進に大きく寄与している。平成30年度から運営方法が都道府県単位化となることに伴い、松島町は地域住民の資格管理、住民への保険金給付等地域におけるきめの細かい事業を実施することとなる。納付金制度や算定方式及び税率の変更により保険税の負担が増加する世帯に対し、松島町は少しでも負担を軽減するために、毎年度ごとに財政調整基金を充て激変緩和処置を行うとしている。更には、国民健康保険被保険者の健康を保持、増進させるため、第2期データヘルス計画に基づき、重症化の予防や効率的な保健事業を推進して行くとしている。松島町における国保税の収納率の向上、特定健診等の受診率の引き上げを期待し賛成討論とする。

後期高齢者医療特別会計予算

反対

今野 章員 議員

後期高齢者医療制度は75歳以上の全員に保険料が課され、2年毎に保険料が見直される。75歳以上の人口と医療費が増加するほど保険料負担にはね返り、保険料が上昇する仕組みで、高齢者の生活実態を無視して、その能力を超えた負担を求めようとする仕組みである。

また、これまで負担が大き過ぎると、制度創設当初から激変緩和の特例措置や負担軽減措置等が講じられてきたが、今年より段階的に廃止されている。その影響は加入者の約半数に及ぶとされ、一時代を支えてきた高齢者にとっては、医療費の負担増や年金削減、介護からの締め出し、来年の消費税増税など受難の時代と言える。

この制度は、高齢者に我慢と犠牲を強いる制度であり直ちに廃止し、国の責任で安心して医療にかかれるようにすべきである。

賛成

澁谷 秀夫 議員

75歳以上の人を対象とする後期高齢者医療制度の運営は、発足から10年が経過し医療制度として定着した感がある。

松島町は県内において、高齢化率が高い位置にあり今後ますます後期高齢者医療制度の利用者が増えることが予想される。

昨今、全国的に後期高齢者の医療費が増大傾向にあり、被用者保険の支援金負担が増しており、医療費負担のあり方が検討課題となっている。松島町は、運営主体の宮城県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、現行制度のより良い推進を行い、高齢者の医療を支えて行かれることを望み賛成討論とする。

介護保険特別会計予算

反対

今野 章員 議員

介護保険料は、高齢化率の上昇と介護サービスの利用増とで保険料が上がる仕組みである。また、国は、持続可能な制度を確立するとして、介護給付から要支援の1、2を外し総合事業に。また費用抑制策として在宅介護への流れを促している。保険料は取るが、サービスは思い通りに利用できないのである。

次期介護保険事業計画では、65歳以上の保険料基準額は月額5600円。前期比で520円、約11%の値上げとなる。今後、消費税の10%増税があり、一方で年金が減らされれば、高齢者の生活、介護利用者の暮らしはさらに大変になる。

本来の介護保険の目的である高齢者の尊厳を大切に、自らがサービスを選び、自分の力を最大限いかしながら、人生を全うできるような介護制度とすべきであり、また保険料の負担増は避けるべきだった。

賛成

櫻井 靖員 議員

今回提案された歳入歳出予算の総額は、17億3045万6千円であり、歳入では、介護保険料のほか、国、支払基金、県、町の負担金等を計上し、定められた財源は確保されているものと考ええる。

本町では、「元気に暮らし、いきいきと活動できる環境づくり」「地域で支え合う体制の強化と包括支援の充実」「介護保険制度の適正な運営」を重点目標に「心も体もすこやかな、笑顔あふれるまちづくり」を進めており、それを実現するため、地域介護予防活動事業や地域ケア会議の充実をはかり、新たに医師や福祉職等で構成される認知症初期集中支援チームを設置し、関係機関と連携しながら認知症対策や在宅医療・介護連携を行っていくなど、今後期待の内容となつている。

以上のことから賛成すべきものと考ええる。

平成30年 3月定例会提出議案 34件

(条例10件、補正予算7件、当初予算9件、請願1件、意見書2件、その他5件)

議案第1号 松島町障がい者計画(第3期)

障害者基本法に基づき町が定める障がい者計画について議決を求めるもの。

議案第2号 松島町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

介護保険法等に基づき町が定める計画について議決を求めるもの。

議案第3号 松島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例

指定居宅介護支援事業の指定の事務について条例をさだめるもの。

議案第4号 松島町介護保険条例の一部改正

平成30年度から平成32年度までの保険料を定めるもの。

議案第5号 松島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部改正

介護関係施設の人員、施設、設備及び運営基準の改正に伴う関係規定の整備を行うもの。

議案第6号 松島町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の全部改正

介護関係施設の人員、施設、設備及び運営基準の改正に伴う関係規定の整備を行うもの。

議案第7号 松島町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険制度の改正による文言の整理。

議案第8号 松島町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の算定方式の変更による諸規定の整備。

議案第9号 松島町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

法改正による住所地特例を実施するための改正。

議案第10号 海洋センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

指定管理制度への移行に伴う諸規定の整備。

議案第11号 松島町環境美化の推進に関する条例の一部改正

引用する法令の改正による字句の整理。

議案第12号 松島町営住宅条例の一部改正
引用する政令の改正による諸規定の整理。

議案第13号 吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合規約の変更

事務所の住所表記の変更による規約の変更。

議案第14号 指定管理者の指定

磯崎漁港漁具倉庫の指定管理者の指定。

議案第15号 平成29年度松島町一般会計補正予算(第6号)

事務事業経費等の精査(2億2279万円減額)。

議案第16号 平成29年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

事務事業経費等の精査。

議案第17号 平成29年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

事務事業経費等の精査。

議案第18号 平成29年度松島町介護保険特別会計補正予算(第4号)

事務事業経費等の精査。

議案第19号 平成29年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第4号)

事務事業経費等の精査。

議案第19号 平成29年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第4号)

事務事業経費等の精査。

議案第20号 平成29年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)

事務事業経費等の精査。

議案第21号 平成29年度松島町水道事業会計補正予算(第3号)

事務事業経費等の精査。

議案第31号 工事委託に関する変更協定の締結

仙石線松島海岸駅・高城町駅間の磯崎踏切拡幅工事委託での事業費の精査。

請願第1号 【日本政府に〔核兵器禁止条例〕への速やかな署名と批准を求める意見書】の提出を求める請願

議案第27号 平成30年度松島町観瀾亭等特別会計予算

議案第22号 平成30年度松島町一般会計予算

議案第28号 平成30年度松島町松島区外区有財産特別会計予算

議案第23号 平成30年度松島町国民健康保険特別会計予算

議案第29号 平成30年度松島町下水道事業特別会計予算

議案第24号 平成30年度松島町後期高齢者医療特別会計予算

議案第30号 平成30年度松島町水道事業会計予算

議案第25号 平成30年度松島町介護保険特別会計予算

議員提案第1号 日本政府に〔核兵器禁止条約〕への速やかな署名と批准を求める意見書

議案第26号 平成30年度松島町介護サービス事業特別会計予算

議員提案第2号 障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

平成30年第1回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※阿部幸夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議決月日	採決結果	杉原崇	櫻井靖	緑山市朗	赤間幸夫	高橋利典	片山正弘	澁谷秀夫	今野章	太齋雅一	後藤良郎	菅野良雄	高橋幸彦	色川晴夫	阿部幸夫	賛成	反対
議案第4号	3月5日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	12	1
議案第8号	3月5日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	12	1
議案第10号	3月5日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	12	1
議案第22号	3月15日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	12	1
議案第23号	3月15日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	12	1
議案第24号	3月15日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	12	1
議案第25号	3月15日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	12	1

【賛成全員】

議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日	議案番号	議決月日
請願第1号	3月2日	議案第9号	3月5日	議案第17号	3月5日	議案第28号	3月15日
議案第1号	3月5日	議案第11号		議案第18号		議案第29号	
議案第2号		議案第12号		議案第19号		議案第30号	
議案第3号		議案第13号		議案第20号		議案第31号	
議案第5号		議案第14号		議案第21号		議員提案第1号	
議案第6号		議案第15号		議案第26号	3月20日		
議案第7号		議案第16号		議案第27号			

議案 審議

松島町障がい者計画(第3期) 松島町高齢者福祉計画・第7期 介護保険事業計画がスタート

議案第1号
松島町障がい者計画
(第3期)について

質疑

今野章議員 今後、移行支援及び就労継続支援A型・B型が共にふえてくる見込みとあるが、松島町としてどのような就労の場を提供できるのか。

町民福祉課長 移行支援については、30年4月より2カ所、就労継続支援A型については、2カ所、B型については、30年4月以降6カ所となる。

片山正弘議員 この計画では、障がい児の保育そして教育の充実が謳われている。平成30年度において保育所・幼稚園における障がい児の受入れ態勢は、どうなるのか。

町長 現時点では、議論していない。今後、注視して行く。

赤間幸天議員 就労支援事業等を考えた場合、単一の自治体だけの取り組みでは難しいのではない

町民福祉課長 現在、塩釜市、多賀城市、利府町、七ヶ浜町そして本町とで宮城東部自立支援協議会を組織し、協議を行っている。

色川晴夫議員 松島町のバリアフリー基本構想について、どれ位会議が行われ、いつ頃条例化を考えているのか。

企画調整課長 これまで3回の委員会を開催しており、今後10年間で整備可能なものにまとめていく段階であり、議会への説明を4月と考えている。

議案審議



松島海岸国道45号 バリアフリーに向けての歩道整備

議案第2号
松島町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画について

質疑

今野章議員 今回の介護報酬改定によって、介護事業所の職員確保は十分に行われるのか。

健康長寿課長 24時間宿泊の施設系ではなかなか職員確保は難しい。他の事業所においては、現在のところ職員不足は生じていないが、今後、ショートステイやデイサービス関連での職員不足が出てくると思われる。本町としては、事業所と協力しながら、職員募集を続けて行きたい。

菅野良雄議員 新たに立ち上げる認知症初期集中支援チームの地域支援推進員を取り入れるとしているが、人的補充は出来るのか。

健康長寿課長 平成30年度に認知症に関して経験豊富な方を臨時職員として考えている。合わせて地域包括支援センター、高齢者支援班も総合的な支援を行うこととしている。



議案第3号
松島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

質疑

今野章議員 介護支援専門医が担当する利用者の数の上限が35人となっているが、町独自で5人減らし30人には出来ないか。

健康長寿課長 国の基準で従うべき基準なので変更することは出来ない。



議案第5号
松島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部改正について

質疑

今野章議員 条例の3条に、その他指定介護予防支援に関する知識を有する職員とあるが、どのような職員をいうのか。

健康長寿課長 保健師、介護支援専門員、社会福祉士、あとは経験、相談等従事したことのある看護師、高齢者保健福祉に関する相談業務に3年以上従事した社会福祉士などが、担当職員となる。

議案第8号
松島町国民健康保険税条例の一部改正について

質疑

今野章議員 賦課方式を所得割の方を変えないで、応益割の方だけ考えてやれば全部簡単に出来たのではないか。

町民福祉課長 基本的には、平等性が一つの目安となっており、特定の世帯に緩和措置を取ることには、出来ないという判断でこのように改正するものである。

議案第10号
海洋センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

質疑

今野章議員 生涯学習と合わせ、効果的な事業展開を図るという事であるが、新年度において、それに基づく事業計画はあるのか。

教育次長 放課後子ども教室の中で、スポーツやウォーキングの仕方を指導したり、歴史文化を学ばせる事業を考えている。



松島町B&G海洋センター

議案第12号
松島町営住宅条例の一部改正

質疑

色川晴夫議員 近傍同種住宅における家賃の算定方法について伺う。
建設課長 公営住宅法に基づき算定している。

議案第14号
指定管理者の指定について「磯崎漁港漁具倉庫」

質疑

櫻井靖議員 使用料の算出方法が昨年12月議会で説明と違っているが。
産業観光課長 前回は棚を目安に算出したが、今回は施設全体が使用される事を前提として、算定するものである。

菅野良雄議員 一部改正により精神障害者などの収入を町が把握し家賃を定めることができることとなるが、収入申告に対する町の対策は。
建設課長 万全を期して対処して行きたい。

ふるさと納税寄附金 さらなるPRを

平成29年度

松島町各種会計補正予算

一般会計補正予算

(第6号)

質疑

杉原崇議員 ふるさと納

税寄附金減は。

財務課長 返礼品を追加しPRに努めているが伸びていない。改善していく。ホテルの宿泊券が一番多い。

後藤良郎議員 高城町活

性化推進事業で補助団体による事業実施が困難とあるが。

産業観光課長 団体が法人化となった。法人は対象にならないことで減額となった。

色川晴夫議員 職員健康

診査当初446万円計上
が100万円の減。その理由は。

総務課長 40歳以上の全

職員が対象であるが、他で健康診断している職員もいるため。

議案審議

櫻井 靖議員 戸籍住民

基本台帳での個人番号カード申請は、現在どの位発行されているのか。

町民福祉課長 町内での

個人番号取得者は、人口対比11・94%の1724人であり、全国平均より上廻っているが、今後とも、普及について広報やホームページに掲載していく。

渋谷秀夫議員 町議会議

員選挙費で約250万円の執行残は。

選挙管理委員会事務局長

町議選の立候補者予定数を21名と見ていたが、15名の立候補者数となったこと、また、投票事務

者が84名から70名、開票事務者が74名から60名となった事により、時間外手当費が99万4千円の減額補正するものである。

片山正弘議員 徴税費の

中で嘱託員の報酬等が減額されている。嘱託員の

空席期間とそれに伴う徴

収率の状況について伺う。

財務課長 空席期間は12

ヶ月間である。収納率については口座振替や自主納付に切替えてもらうことにより、平成28年度と同様の収納率となる見込みである。

菅野良雄議員 道路補修

事業費の減額した理由は何か。

建設課長 国からの交付

金が当初予算要求の約53%となったものである。

太齋雅一議員 雑入の返

還金について伺いたい。

産業観光課長 町内のト

マト溶液栽培施設新設工事の請負業者による不当な取引制限の禁止に係る違反行為に伴って、違約金が確定し、この建設工事に係る補助対象事業費が減額となったことから、補助金の一部を宮城県へ返還するものである。

高橋幸彦議員 財政調整
基金繰入金への繰入額が約4億2200万円と多くなった理由は。

財務課長 一番の理由と

しては、震災復興特別交付税の3億8982万円の減が大きい。

今野章議員 災害援護資
金貸付金の実情について伺う。

町民福祉課長 これまで

借り受けした人が50人、償還が残っている人が47人で償還残額は6640万円弱となっている。



トマト溶液栽培施設

皆さんの

請願を採択

請願第1号

【日本政府に「核兵器禁止条約」への速やかな

署名と批准を求める請願書について

請願者

松島町医療生活協同組合

代表幹事 蒲生 功他

紹介議員 今野 章議員

《請願の趣旨》

核兵器のない世界を望む国内外の広範囲な世論に応じて、唯一の被爆国である日本こそ率先して取り組むべき課題である。

よって、「非核・平和の町宣言」を掲げている自治体として宣言の趣旨に沿って、日本政府に「核兵器禁止条約」に署名し、推進する意見書を提出することを請願する。

賛成全員・採択

請願とは？

国民は議会に対して自らの意見や願いを文書にして提出することができます。このような文書を請願書といいます。請願権は国民の基本的権利の一つとして保障されています。

議会では、請願の内容について詳しく調べ、よく話し合い、請願については、その内容が適切であるかどうかの判断をします。そして、適切だと思われるものについては町長や国や県に伝え、意見や願いが実現するよう関係機関に働きかけをします。請願書を提出するには、議員の紹介が必要です。

議員提案

意見書提出

議員提案第1号

日本政府に「核兵器禁止条約」への速やかな署名と批准を求める意見書について

《趣旨》

核兵器のない世界を望む国内外の広範囲な世論に応じた取組は、核兵器の唯一の被爆国である日本こそ率先して取り組むべき課題である。

よって、国においては、速やかに「核兵器禁止条約」に署名し、批准することを強く要望する。

提出先

衆議院議長 参議院議長

内閣総理大臣 外務大臣

賛成全員・可決

議員提案第2号

障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の整備を求める意見書について

《趣旨》

多くの障害児者と家族は、社会からの孤立と家族依存、老障介護等の現実の中で、生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を切実に望

んでいる。地域の中の重要な社会資源として共存し、相互に連携した運営が図られ、利用者が体験的に選択できる状況を早期に実現できるように次の事項を強く要望する。

1. 障害児者が「暮らしの場」を選択できるようグループホームや入所施設・通所施設などの社会資源を拡充し福祉人材を確保すること。
2. 入所機能を備えた地域生活支援拠点を国の責任で整備すること。
3. 前2項を実現するために、障害者関係予算を大幅に増額し、施設の重大な担い手になっている地方公共団体を財政的に支援すること。

提出先

衆議院議長 参議院議長

内閣総理大臣 厚生労働大臣

内閣官房長官

賛成全員・可決

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

平成29年12月22日（金）平成29年第4回塩釜地区消防事務組合議会が開催された。

行政報告

平成29年1月から11月までの火災発生件数は、30件で、そのうち松島町は5件であった。救急出動件数は、8228件で、そのうち松島町は930件であった。

次に、平成29年4月から11月までの要介護認定審査判定状況は、審査回数が164回、4897件の審査判定を行い、障害者支援区分審査判定状況は、審査回数が16回、146件の審査判定を行った。

また、平成29年4月から11月までの塩釜地区環境センター業務実績は、し尿及び浄化槽汚泥の搬入量は6502トンだった。

そして、平成29年4月から11月までの塩竈斎場の利用実績は、1490件であった。

議案の審査状況

条例の一部改正3件、各種会計補正予算4件、財産の取得1件が原案の通り賛成全員で可決された。

また、監査委員（議選）の選任について、後藤良郎議員が、賛成全員で選任同意された。

一般質問

1名の議員から質問があった。

片山 正弘 議員
後藤 良郎 議員

宮城東部衛生処理組合議会

平成29年12月25日（月）平成29年第4回宮城東部衛生処理組合議会が開催された。

行政報告

平成29年4月から11月までのごみ搬入状況には、可燃・粗大ごみの総搬入量は3万4171トンで前年同期期に比べ128トン、率にして0.38%の増になった。

また、焼却灰、排出ガス中の放射性物質濃度及び埋立地浸出処理水、地下水、各施設敷地空間放射線量の測定結果については、いずれも測定結果では、ヨウ素131不検出、その他は基準以内もしくは不検出であった。

そして、施設の維持管理、運転管理の状況については、各施設とも順調に稼働おり、ごみの搬入が増加する年末年始に向けて維持管理、運転管理に万全を期すとの報告があった。

議案の審査状況

条例の一部改正2件、補正予算1件が原案の通り賛成全員で可決された。

また、監査委員（議選）の選任について、今野章議員が、賛成全員で選任同意された。

今野 章 議員
櫻井 靖 議員

宮城県後期高齢者医療広域連合議会

平成30年2月6日（火）平成30年第1回宮城県後期高齢者医療広域連合議会が開催された。

議案の審査状況

- ① 個人情報保護条例の一部を改正する条例
- ② 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- ③ 平成29年度一般会計補正予算
- ④ 平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算
- ⑤ 平成30年度一般会計予算。歳入歳出総額7億6330万円
- ⑥ 平成30年度後期高齢者医療特別会計予算。歳入歳出総額2472億6400円

以上の議案が原案の通り可決された。

緑山 市朗 議員

議会活動

◆主な活動内容

- 1月18日 二市三町議長団連絡協議会研修会
民営化した仙台国際空港の現状について
仙台国際航空を活かした広域観光の今後の
方向性について
- 1月19日 宮城県町村議会議員講座
政局の行方と国際情勢
- 1月22日 新たな地方公会計制度に関するセ
ミナー
統一的な基準により作成された財務書類の
見方
- 1月25日 宮城県知事と市町村議会議長との
意見交換会
- 1月29日 議会全員協議会
報告事項
松島町立保育所再編に係る中間報告につ
いて
協議事項
①松島町障がい者（第3期）素案につい
て
②松島町高齢者福祉計画・第7期介護保
険事業計画（素案）について
③国民健康保険都道府県単位化について
④松島町地域公共交通網形成計画（中間
案）について



二市三町議長団連絡協議会研修会



成人式



消防団出初め式

トピックス

平成30年第1回定例会を松島第五小学校6年生（当時）の丹野千哉君がおじいちゃんと共に傍聴しました。

議会を初めて傍聴した丹野君は、「政治の仕組みが少しですが分かりました。もっといろいろな人が議会の傍聴に来てくれるといいなと思います。」と感想を言ってくれました。

※児童の傍聴は認められておりませんが、保護者同伴であることから議長の許可により傍聴しました。



傍聴に来てくれた丹野千哉君

- 2月9日 都市・農村共生社会創造シンポジ
ウム
農村政策を再考する
農業が つなぐ人と地域の未来
- 2月14日 宮城県町村議会議長会定期総会
- 2月14日 宮城黒川地方町村議会議長会定期
総会

その他

町民新年会、成人式、消防団出初式等町の行事に積極的に参加。
各幼稚園・保育所、各小学校、中学校の卒業式に招かれ出席。
また、各常任委員会、議会運営委員会が開催された。

町民の声



千葉伸一さん
(松島)

「これまで」の松島と「これから」の松島

「呼び込む」から「喜ばせる」へ

スマホ等の普及による「ネット社会」、人口減少による「縮小社会」、その変化は明治維新以来とも言われており「これから」が「これまで」の延長線にない難しい時代です。昭和の団体型・イベント型観光はたくさん観光客をもたらしましたが、同時に依存体質を生みました。現在のネット社会は口コミ社会、そして縮小社会にはリピーターが重要。いくらお客様を呼んでも印象が悪ければお客様は減り、逆に喜ばせることができれば良

い口コミが広まりお客様は増えます。昔は元氣だった熱海と現在も賑わっている鎌倉を比べてみると解ります。

中世の松島は美しい霊場でした。その歴史を活かし、美しさと質が向上すれば一度訪れるだけの観光地から何度も足を運ぶようになる巡礼地になれるはず。不確かな時代の確かな方法、それは一人ひとりが依存や評論ではなく、自ら考え工夫し、目の前のお客様を喜ばせて「これからの松島」を創っていくことだと考えます。

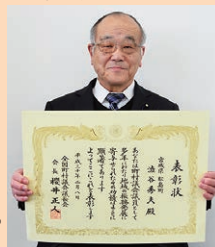
全国町村議会議長会長より自治功労者で表彰

太齋雅一議員が議員として27年以上在職し地方自治の振興・発展に功績があったことが認められ、全国町村議会議長会長より表彰されました。



全国町村議会議長会長並びに宮城県町村議会議長会長より自治功労者で表彰

澁谷秀夫議員が議員として15年以上在職し地方自治の振興・発展に功績があったことが認められ、全国町村議会議長会長並びに宮城県町村議会議長会長より表彰されました。



表紙を飾られた、皆んからのメッセージ

今、私たち松島中学校野球部は、基本の定着とお互いのコミュニケーションを大切に練習をしています。

松島中学校野球部主将 石垣 莉矩

6月から始まる中総体では、私たちの目標である「日本一」になりたいと思います。そのために、練習の一球、練習の一分一秒を無駄にしないことが大切です。そして、この一球が試合の一球だったら、どうなるかなど、常に試合のことを考えてプレーをすることが大事になってきます。そのことが、徹底されていけば目標の「日本一」という大きな、栄光が手に入ると思います。また、松島や宮城の野球の歴史を変えるために、他の学校よりも多くの努力を積み重ねていきたいです。また、チームメイト同士の声かけも大切にすることで、自分自身に自信が持てる、やる気が芽生えると思います。そうすることで、お互いを高め合えることが出来て、勝てるチームが出来ると思います。

次回6月の定例会は

6月8日

開催予定です。

ぜひ、傍聴においで下さい。



編集後記

風光明媚な松島を舞台に、プロアマ問わず、100組以上の出演がある野外音楽イベント「松島パークフェスティバル」が、5月27日に開催されます。回を重ねるごとに、出演者、観客が増え、多くの方で松島が賑わいます。前夜祭も石田沢防災センターにて開催され、座直市「まつり」の同時開催もあり、音楽とともに、松島の食も味わえます。

この議会だよりは回を重ね、今回で134号。字数制限がある中で、議員の活動や考えをしっかりと伝えようと頑張ってきた先輩議員の想いを引き継ぎ、町民の皆様が楽しみにしてもらえようという紙面づくりに励んでまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

(杉原 崇)

広報広聴常任委員会 広報分科会

- | | |
|-----|-------|
| 委員長 | 櫻井 靖 |
| 委員 | 杉原 崇 |
| 委員 | 緑山 市朗 |
| 委員 | 澁谷 秀夫 |
| 委員 | 太齋 雅一 |
| 委員 | 後藤 良郎 |
| 委員 | 色川 晴夫 |